

## 平成27年度予算の概要

### 1 京都市予算の概要

平成27年度予算は、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」の有利な財源を活用した26年度2月補正予算と一体となって、京都が誇る優れた文化力、歴史力、地域力、さらには、人間力を最大限に活かし、参加と協働により東京一極集中を打破し、「人口減少社会」に挑戦するとともに、「はばたけ未来へ！京プラン」に掲げる未来像を実現していく総仕上げとして、これまで着実に積み上げてきたものが結実し、花開く積極予算として編成しました。

こうした基本姿勢の下、以下の4点を予算編成にあたって重視しています。

- ① 観光、大学、産学公連携、中小企業など京都の強みを活かし、国の政策を先取りする気概で京都経済を活性化し、安定した雇用を創出
- ② 京都の誇る文化・芸術、景観などの魅力に磨きをかけ、世界の文化首都として都市格をさらに向上。日本のこころのふるさと、精神文化の拠点都市として、日本の「こころ」の創生をけん引
- ③ 「京都で子育てして良かった」「京都で学んで良かった」と実感できる全国トップレベルの子育て環境、教育環境を一層充実
- ④ 防災・減災対策の強化、市民ぐるみの安心安全のまちづくりの推進など、地域と一体となったいのちとくらしを守る取り組みを加速化

### 2 平成27年度産業観光局所管予算の概要

平成27年度の産業観光局所管（給与費を含む。）の一般会計予算額は約845億円で、前年度当初予算と比べ、約77億円（8.4%）の減、雇用対策事業特別会計では約5億円の予算を計上し、前年度当初予算と比べ、約2億円（36.6%）の減、その他特別会計では約37億円を計上し、前年度当初予算と比べ、約4億円（13.2%）の増となっています。

産業観光局の役割は、人口の減少や、経済のグローバル化及び高度情報化の進展といった社会の変化に的確に対応し、産業の振興を通じて市民の暮らしと仕事を支えることです。

そのため、27年度予算編成においては、

- I. 安定した雇用の創出と安定した所得の確保
- II. 市税収入の増加による市民生活への還元
- III. 地域の賑わいと魅力づくり

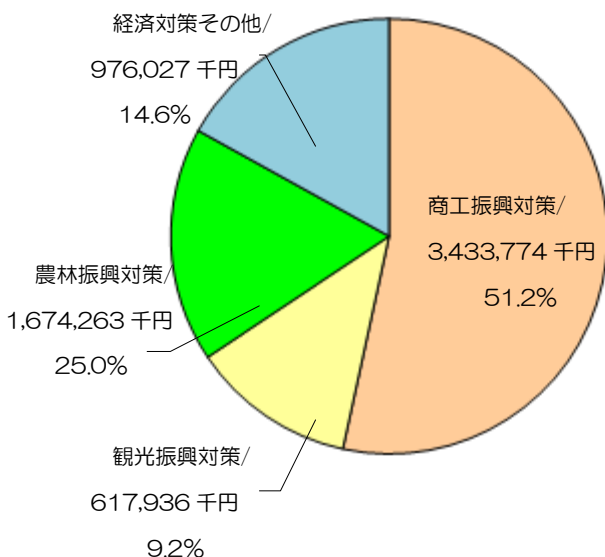
の3つを柱として、地域経済の好循環につながるよう、産業振興と地域振興を総合的に展開してまいります。

<参考>一般会計予算の規模等

区分	27年度当初予算	26年度当初予算	対前年度比較（増減率）
京都市一般会計	7,504億円	7,395億円	109億円（1.5%）
うち産業観光局所管分	845億円	922億円	77億円（△8.4%）

#### \* 産業観光局一般会計歳出予算の内訳

（給与費約18億、中小企業融資制度預託金760億円を除く。）



分野別対策	千円	%
商工振興対策	3,433,774	51.2
創業・新事業創出への支援	203,510	3.0
企業立地促進	508,679	7.6
新規成長分野への支援	1,749,923	26.1
産業振興対策	287,723	4.3
商業振興対策	103,340	1.5
伝統産業振興対策	227,078	3.4
中小企業振興対策	353,521	5.3
観光振興対策	617,936	9.2
農林振興対策	1,674,263	25.0
経済対策その他	976,027	14.6
	6,702,000	100.0